

エネジン本社をショールーム化 & 災害用設備公開

浜松のエネジン、本社をショールームに

災害用設備が充実

LPガス販売などのエネジン（浜松市中区）が、本社の災害用設備の見学受け入れに力を入れている。十月初めの台風24号による大停電で、業務の休止に追い込まれた企業も多い。ガス会社の充実した備えとノウハウを見せることで、企業の災害対応やBCP（事業継続計画）策定を支援する。（山田晃史）

タンクローリーからLP ガスの復旧作業に当たるガスを直接充填する大型貯蔵タンク、リチウムイオン蓄電池、飲料水用の貯水タンク、マンホール直結式のトイレ。エネジン本社の敷地内には、こうした設備がぎっしりと並ぶ。



災害用のLPガス発電機を見学する人たち 浜松市中区で

ガスタンクや発電機 停電で見学者増加

日に一回は稼働させ、二カ月に一回は従業員による訓練も実施している。昨年始めたBCP策定支援事業の一環で、設備の見学を受け入れてきたが、数社にとどまっていた。働き方改革の事例と合わせ、今年九月に本社をショールーム化した直後に大停電が発生。十、十一月の二カ月間で見学者は二十社に急増した。来年一月末までにさらに三十社の見学予定が入っているという。

十一月下旬には、釣り具販売のイシグロ（浜松市中区）の担当者三人が見学に訪れ、発電機の稼働音を聞き比べるなどした。エネジンの担当者は「油のように燃料の劣化がないので、いざという時に安心だ」とLPガスの利点をアピール。イシグロの奥野恒士副会長は「十月の停電ではトイレが使えなくなり、浜松と磐田の三店舗を閉めた」といい、「発電機を誰でも使えるように訓練することが大切だと感じた」と話した。

エネジンは、希望に応じて防災訓練の指導や立ち会いなども実施している。来年二月には災害対応やBCPに関するセミナーを開く予定。問い合わせは同社特需課 電話053（471）1194へ。



エネジンは、本社をショールームとして公開中！
ガス会社として、災害時、ガス復旧作業をするため業務継続が必要不可欠。
多彩な設備・ノウハウのある当社にお気軽にご相談下さい。

エネジン本社特需課 053-471-1194

平成30年(2018年)12月7日(金)

中日新聞掲載